作成日 2026 年　9 月　2 日
（最終更新日 2026 年　10 月　2 日）

「情報公開文書」（Web ページ掲載用）

受付番号： 5516

課題名：卵巣明細胞癌における KIM-1 発現と腫瘍微小環境および予後との関連因子の検索

１．研究の対象
2000 年 1 月～2025 年 12 月に当院で卵巣癌と診断された方が対象となります。

２．研究期間
研究期間は 2028 年(令和 10 年)12 月 31 日までを予定しています。

３．試料・情報の利用及び提供を開始する予定日
当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始予定日：2026 年 10 月 1 日
提供開始予定日：該当なし

４．研究目的
卵巣明細胞癌は、日本人の卵巣がんの約 4 分の 1 を占める組織型で、早期に見つかった場合の治療成績は比較的良好ですが、進行した状態で見つかった場合や再発した場合には、これまで標準的に用いられてきた抗がん剤が効きにくいことが知られています。しかし、どの患者さんで治療が効きにくいのか、また予後がどうなるのかをあらかじめ予測できる目印（バイオマーカー）は、まだ十分に見つかっていません。
本研究では、KIM-1 というタンパク質に注目します。KIM-1 はもともと腎臓の障害を調べる目印として知られてきましたが、腎臓のがんなどではがん細胞そのものに多く現れ、その一部が血液中に流れ出ることが分かってきました。本研究では、卵巣明細胞癌における KIM-1 の現れ方と、がんのまわりの環境に関わる LDHA、HIF-1α、STAT3、p53、CD8、PD-L1 などのタンパク質の現れ方を調べ、これらと治療の効果、再発、予後などとの関係を検討することで、将来的な予後の予測や治療法の選択に役立つ新しいバイオマーカーを見つけることを目的とします。

５．研究方法
保存された腫瘍組織を用いて、KIM-1 や LDHA、HIF-1α、STAT3、p53、CD8、PD-L1 などのタンパク質の現れ方を、免疫染色という方法で調べます。染色した標本は病理医が評価するとともに、画像解析ソフトウェアを用いて数値化します。また、保存された血液（血清・血漿）を用いて、血液中の KIM-1 の濃度を ELISA という方法で測定し、組織での現れ方や治療の経過との関係を調べます。さらに、すでに公開されており個人が特定できないようになっている遺伝子データベースの解析もあわせて行い、KIM-1 に関連する仕組みを検討します。

６．研究に用いる試料・情報の種類

診療や病理診断のためにすでに採取され、当院で保存されている腫瘍組織や血液（血清・血漿）を使用します。本研究のために新たな採血や組織採取を行うことはありません。また診療録（カルテ）から治療内容、病理組織学的診断、その他日常診療で得られた年齢や身長・体重などの臨床データ及び血液検査データ等を採取し解析する予定です。使用する試料・情報については、仮名加工後、研究番号のみ付与された検体を用いるため、直ぐに個人情報と特定できる可能性はありません。

７．外部への試料・情報の提供

本研究では、試料・情報を外部の機関に提供することはありません。

８．研究組織

本校単独研究

９．研究に関する情報公開の方法

研究結果を発表する際には、患者さん個人が特定できないよう個人情報を加工して公表いたします。

１０．研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

本研究の資金は講座研究費を使用します。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

１１．二次利用の可能性

採取されたデータは今後、卵巣癌に対する研究に対して二次利用は行う可能性があります。利用する場合は、その研究計画が倫理委員会で承認された上で利用いたします。承認された場合、ホームページ等で研究概要を公開（研究代表機関、当該研究のホームページ等に掲載）いたします。

１２．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院産科婦人科　三宅　太郎
住所　：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
連絡先：04-2995-1511（内線 2363）電話対応時間 9 時から 16 時
taro_obgn9@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院産科婦人科　三宅　太郎